



インスピレーションになるう

高岡 **北**
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長 幸塚 栄三
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事 荻布 雅章
	国内創立順位・1489	会報委員長 藤川 正司

第1735回 例会 3月4日(日)

◇点 鐘

◇国歌斉唱

◇ソング “四つのテスト”

◇会長挨拶並びに報告

皆さんこんにちは。先週は「おでん電車」に乗って、味のしみたおでんを食べつつ一杯飲みながら楽しくやってきました。お世話になった方、どうもありがとうございました。

さて、山本一力さんという直木賞作家がいるのですが、小さい頃とても貧乏だったそうで、14歳のころに上京し、富ヶ谷の新聞配達達の店に住み込みで働きながら、中学に通っていました。その中学に富永という20代の大柄な先生がおられたそうです。山本さんは朝4時に起きて新聞配達をし、放課後も夕刊を配りに行って、そのような生活をはじめから一ヶ月ほどしたころ、梅雨に入り、新聞配達もしているし、友達もできない、なので、学校が嫌になってきたそうです。それで、1日ずる休みをしたのですが、そうすると、2日目もずる休みが続き、なかなか学校に行く気が起きなくなったそうです。3日目も休み、夕刊を配っていて帰ってくると、その富永先生が立っておられたそうです。富永先生は、「山本君、疲れて大変だと思う。先生も朝4時に起きてみたのだが、眠くて寝てしまった。君の苦労はよく分かる。しかし、あなたは勉強しなければならぬ身で、逃げずにはいけない」とおっしゃったそうです。我々も嫌な事があると逃げたくなりますが、富永先生は、「逃げずにはいけない」という言葉と、「明日からやるべき事はやらないと、先延ばしにしても前に進まない」という言葉をいつてくれたそうです。その先生のおかげで何とか中学は卒業したのですが、山本さんは故郷の土佐に帰って漁師になろうと考えていたそうです。ところが、富永先生は高校に行くことを勧めたそうです。高校の合格発表のときは雪が降っていたそうで、その雪の上をぴょんぴょんとはねながら、合格を喜んだそうです。

言葉の重みというのは、その時の雰囲気やその人の話すことが非常に重みがあると山本さんはおっしゃっています。人を育てるときは、いつもと違った言葉で話してはどうかとっておられました。

◇幹事報告

- 1) 配布：①会報NO.24、25
- 2) 回覧：①2019-20年度のロータリー手帳の販売案内 1部648円。

◇二コニコBOX報告

荻布幹事：おでん電車例会出席の皆様お疲れ様でした。眼底出血で目の前が真っ黒になりましたが、ようやく少し良くなりました。飛んでいる蚊も少なくなり、あまり気にならなくなってきました。

藤井 均君：①先日、インフルエンザを発症し、38度から39度6分の高熱が続き、3日間寝込んでしまいました。皆様、季節柄ご自愛ください。

②結婚記念のお祝いありがとうございます。

吉谷奈艶子君：先日のおでん電車にご参加のみなさま、ありがとうございました。今回はカラシ戦争がなく、平穏無事に楽しめました。

中村勝治君：早退のお詫び

【今年度二コニコBOX累計額 369,400円】

◇委員会報告

*藤川雑誌委員長より「ロータリーの友」3月号の紹介

◇出席報告 出席者 22名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	2/18例会 修正出席率
1名	39名	70.97 %	87.10 %

◇本日のプログラム (担当：広報・雑誌・会報)

会員卓話「暦と占いともろもろのお話」

上田 正宙 会員

暦というのは、十干、上から甲(きのえ)、乙(きのと)、丙(ひのえ)、丁(ひのと)、戊(つちのえ)、己(つちのと)、庚(かのえ)、辛(かのと)、壬(みずのえ)、癸(みずのと)、そして十二支、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥。それを組み合わせて順番にめぐってきます。生まれた年と同じ組み合わせになるのは、その最小公倍数の60、つまりそれを還暦といひます。今年は己亥になります。今年還暦の方は己亥に生まれたということになります。赤いチャンチャンコを贈るのは、もう一度生まれ変わって出直すという意味があります。赤色は赤子の意味だともいわれています。もしもう一度同じ暦にめぐり合うのは121歳のときなり、大還暦といひます。

今は西暦と比べますが、西暦が伝わっていなかったときは、この暦しか使われていませんでした。例えば、壬申の乱は675年ですが、みずのえのさるの年におきてるので、壬申の乱といひます。甲子園球場は、きのえのねの年にできているという事です。

暦は、もともと日読み(かよみ)といひます。それがなまって暦になりました。大陸から暦が伝わって日本流に統計学のように知識を蓄積していきます。それが今の気学や四柱推命など、暦で占うものは、全てこの知識になります。

今年は、つちのとのいです。これは暦で言うと、もつれた糸を表します。人と人との関係を丁寧に紐解いていく事をすれば吉となる年回りです。亥ですが、木へんを付けたら核になります。地中からエネルギーが持ち上がるという意味があります。衝撃的、爆発的エネルギーがはやる年です。例えば、いい事があるとみんながそこに行き、悪い事だとみんなで叩きに行くという、上下の運動が激しい年です。

この年回りと暦に九星というのがあります。一白、二黒など数字に色が付いているもので。今年は八白です。これは9年に1回回ってきます。己亥八白を占うというのが、気学運命学の基本です。八白は、変化の年になります。変化をする年にもかかわらず、衝撃的、爆発的エネルギーの亥で、この年は、36年に1度めぐってきますが、大改革の年となります。経済学の本などが、今年は乱高下し変わるといっているのは、暦からきています。今までやってきた事が通用しないくらいに変化するのが今年です。

この間もお酒の席で話していましたが、神社界でも売れている事があり、日本銀行は今後電子マネーとお札しか作らず、小銭は作らなくなるそうです。小銭がなくなると困るのは神社です。賽銭箱が無くなりますから。お賽銭に千円札入れますか？電子マネーでお賽銭しますか？それくらい変わるので、本庁でも研究しているようです。

それくらい世の中が変わるのが今年です。

十二支は時刻に当てはめますが、方位にも当てはめます。子が北で南北線の事を今でも子午線といひます。

面白いのは、桃太郎の話で、桃太郎は鬼退治に行きます。鬼はどこに住んでいるかという丑寅の方角です。これを鬼門といひ北東です。これを退治するにはどうすればいいか。お話を思い出していただきたいのは、お供に猿、鳥、犬を連れて行きました。つまり、鬼がいる方位の反対の干支である、猿、鳥、犬を連れて行ったというのが、桃太郎のお話の原型だといひられています。

鬼門の門は昔から重要で、京都の鬼門には延暦寺、江戸幕府の鬼門には寛永寺があります。元号が付いているお寺は勅願寺といひ、天皇しか決められません。その大事な寺を置く事で、鬼門をまわしていきます。

さて、きのえ・きのとなど全てに意味があります。例えば、神社には鳥居がありますが、東南アジアで村と村の境に門を建てて尾長鳥を置いておくと魔よけになるといひるところから「鳥居」と書くといひ民俗学の説と、酉は西に当たるのですが、古代の日本人は目上の方のところに行くときには西から行ったそうです。西に玄関を作り、下々のものはそこから入るので「西から入る」がなまって鳥居になったといひられています。

昔の暦は、そのようなところから来ています。自分の暦はどこにあるか、見ていただければと思ひます。

自分の生まれを見ていただいて、それが、統計学のところの占いに入っていきます。その占いが、納音(なっちゃん)といひものです。暦は、同じ生まれ年の方が、同じ運命をたどるのかと思われがちですが、それは違い、生まれたときにどのような気を吸ったかが気学、運命学、算命学の基本になります。今年は己亥八白の年周りの年に生まれたので、その気が基本になり、家でたとえると土壌です。その後家を建てるので、その人の家の環境や出会い、経験が組み合わせていくので、生まれた暦で全て同じになる事はありません。ただ、基本的な土壌はこうですといひ事です。あとは、お配りした納音をご参照ください。

◇3月在籍表彰

幸塚 栄三 君(28年) 日下 要君(21年)

◇3月結婚記念日祝い

和田 徹 君(5日、47年)

山辺 知代 君(6日、26年)

唐澤 英夫 君(20日、51年)

斉藤 寿雄 君(21日、42年)

日下 要 君(24日、54年)

藤井 均 君(25日、35年)

福田 宏治 君(28日、17年)

◇3月誕生日祝い

日下 要 君(1日) 福田 宏治 君(13日)

上田 正宙 君(14日) 吉谷奈艶子 君(14日)

新森慎之助 君(27日) 勝山 功 君(31日)